

## 令和3年度 家庭学習の手引き

【第1学年】

杉並区立東原中学校

	内 容
国 語	<p>〈予習〉教科書の文章を読んで、漢字の読み方や語句の意味を確認しましょう。国語の学習の漢字や語句の部分を活用しましょう。</p> <p>〈復習〉国語の学習やプリントの問題を解いて内容を確認しましょう。漢字は送りがなをつけて書いたり、熟語で書いたりして覚えましょう。読解問題も漢字もくり返して練習することが大切です。</p> <p>〈日頃〉本や新聞を読んで、さまざまな文章に触れましょう。読んだあとにどんな内容だったか要点をまとめたり、自分の考えを書いたりして読みを深めていくとよいでしょう。</p>
数 学	<p>〈日頃〉すでに学習した範囲の計算練習を何度も繰り返しやる（教科書の基本の問題や補充問題、ワーク）。出された課題（小テストなど）はすぐに練習をし、繰り返し練習する。わからないところは早めに聞いて解決する。</p> <p>※自分ができる問題とできない問題をきちんと区別し、できる問題は繰り返し解き、できない問題は1つずつ解決する。同じ問題でも何度も解くことが大切。特に計算処理（符号・文字・加減乗除など）は反射的にできるまで練習が必要。</p>
英 語	<p>〈予習〉<b>BINGO</b>の単語を書いておく。</p> <p>〈復習〉教科書の音読をする。 進度に合わせて<b>Joyful Workbook</b>をやる。 ロイロノートに入れた「東原中学校 スピーキングトレーニング」を活用し、音声での英問英答になれる。</p>
社 会	<p>（日頃）本・新聞・テレビ・インターネットからさまざまな情報に触れ、興味を持ったことがらについて関連する教科書・資料集・地図帳を見てみましょう。それをプリント等に取り入れると更によい。 資料集は教科書よりも更に詳しい内容がまとめられているので活用しましょう。</p> <p>〈予習〉次に習う所の教科書を一読して確認し、自分が分かりにくいところを事前に把握しましょう。</p> <p>〈復習〉毎時間配布するプリントを、必ず一度見直しましょう。分からなかった事はそのままにせず自分で調べ、質問し、解決しましょう。</p>
理 科	<p>（予習）実験・観察プリントを活用し、実験・観察の予想をたて見通しをもって実習に取り組めるようにする。</p> <p>（日頃）「よくわかる理科の学習」(Workbook)の学習ノートを活用し、少なくとも単元ごとには復習を進める。</p> <p>（定期考査前）定期考査の範囲の<b>Workbook</b>を解き直す。</p> <p>（定期考査後）間違えた問題について解き直し、間違えた理由を含め振り返る。</p>

令和3年度 家庭学習の手引き

【第2学年】

杉並区立東原中学校

	内 容
国 語	<p>〈予習〉授業前にノート・ワークシートを見返して、前回までの範囲で疑問や知らない言葉が残っていないか確認しましょう。</p> <p>〈復習〉その日のうちにノート・ワークシートを見返して、授業中に出てきた疑問や知らない言葉を必ず調べましょう。</p> <p>〈日頃〉テレビ・SNS・動画サイトなど様々な媒体から言葉に触れましょう。自分の知らない言葉や表現が出てきたらすぐに調べる習慣をつけましょう。</p>
数 学	<p>〈予習〉授業開始前の数分で今回の授業の教科書をさらっと読むだけで構いません。何がわからなそうかを事前に知ることによって授業への取り組み方が大きく変わってきますので、是非実践してください。</p> <p>〈復習〉① 当日夜までに授業で解いた問題を<u>自力</u>で解く。                  ② 週末までに1週間の授業箇所の問題集を<u>自力</u>で解く。(できれば問題集には直接書かない)                  ③ 試験前(2,3週間前)に試験範囲内の教科書の問題、問題集を<u>自力</u>で解き直す。(この際、問題集に直接書く。)</p> <p>自力とは、問題の解き始めから解き終わりまで何も見ずに解き切る(理解度100%)ということ。理解度が100%でない問題(全く手がつけられなかった、ノートを見たらかわかった、解説を少し見たら解けた、答えが違った。)はそれぞれ異なる印をつけ、100%になるまで解き直しを行うこと。解説を見ることはいいことだが、「読んで終わり」「写して終わり」はNG!自力で解き切れるまで解き直しが必要。</p>
英 語	<p>〈予習〉教科書の音読、単語の意味調べ、本文の内容理解</p> <p>〈日頃〉進度に合わせてワークブックを解く、単語の反復練習、基本文の反復練習</p> <p>〈復習〉教科書の音読、復習ノートの活用、ワークシート等を活用して英⇒日、日⇒英に書き直したり、言い直したりしてみる</p> <p>※同じ問題でも100%解けるまで繰り返し練習することが大切です。間違えた場合は、その原因まで突き止めてみましょう。</p>
社 会	<p>(日頃)教科書・資料集・地図帳を見ましょう。資料集は教科書よりも更に詳しい内容がまとめられているので活用しましょう。関連した本・新聞記事を読む、インターネットで調べてみるなど積極的に情報収集をしましょう。それをプリント等に入力すると更によい。</p> <p>〈予習〉次に習う所の教科書を一読して確認し、自分が分かりにくいところを事前に把握しましょう。</p> <p>〈復習〉毎時間配布するプリントを、必ず一度見直しましょう。分からなかった事はそのまますで自分で調べ、質問し、解決しましょう。</p>
理 科	<p>(予習) 実験・観察プリントを活用し、実験・観察の予想をたて見通しをもって実習に取り組めるようにする。</p> <p>(日頃) 基礎からのパワーアップシートを活用し、基礎的な「知識・技能」を身につける。                  単元ごとに振り返りシート(一枚ポートフォリオ等)を作成し、学習履歴から自分自身の理解度を把握する。</p> <p>(考査) 問題で理解度を常に確認し、ミスは必ず原因究明! そして、○×にかかわらず必ず正解の解説を熟読。</p>

令和3年度 家庭学習の手引き

【第3学年】

杉並区立東原中学校

	内 容
国 語	<p>(日常的にすべきこと) 様々な情報に触れて語彙を増やすことが大切です。普段自分が見ている動画サイトや SNS だけでなく、ニュース、新聞、ドラマ、ドキュメンタリー番組など、テレビを見るのも語彙力を増やす手段の一つです。(読書も当然おすすめてです。) また、自分の知らない言葉が出てきたらすぐに調べる習慣を付けましょう。認知語彙が増えない限り、使用語彙を増やすことはできません、(復習) その日に学習したことについて確認をしましょう。その日のワークシートなど見て、50 分間の授業を頭の中で再現してみることも有効な復習の方法です。</p>
数 学	<p>〈日頃〉すでに学習した範囲の計算練習を何度も繰り返しやる(教科書の基本の問題や補充問題、ワーク)。 出された課題(小テストなど)はすぐに練習をし、繰り返し練習する。わからないところは早めに聞いて解決する。 ※自分ができる問題とできない問題をきちんと区別し、できる問題は繰り返し解き、できない問題は1つずつ解決する。 同じ問題でも何度も解くことが大切。特に計算処理(符号・文字・加減乗除など)は反射的にできるまで練習が必要。</p>
英 語	<p>予習・本文の単語調べ、practice、英問英答を解く 復習・教科書の音読(教科書の QR コードを活用)、進度に合わせて Joyful Workbook、くり返し語順トレーニングを解く、自学ノート(学習の目標を自分で設定し、ノートに記入したうえで学習を行う)、本文プリントや学習プリントの日本語訳を見て、英文を言えるように、書けるようにする、ロイロノートに入れた「東原中学校 スピーキングトレーニング」を活用し、音声での英問英答になれる。</p>
社 会	<p>(日頃) 教科書・資料集・地図帳を見みましょう。資料集は教科書よりも更に詳しい内容がまとめられているので活用しましょう。関連した本・新聞記事を読む、インターネットで調べてみるなど積極的に情報収集をしましょう。それをプリント等書き入れると更によい。 〈予習〉次に習う所の教科書を一読して確認し、自分が分かりにくいところを事前に把握しましょう。 〈復習〉毎時間配布するプリントを、必ず一度見直しましょう。分からなかった事はそのままにせず自分で調べ、質問し、解決しましょう。</p>
理 科	<p>予習：なし(ただし、学習中の内容に関連するニュースや新聞記事、読書はオススメ) 復習：①授業内容をノートで確認。理解する。 ②関連する問題を解いて理解の度合いを確認。 ③ミスの原因を確認。 ④○×にかかわらず、解答解説を熟読する。(類似する問題にも対応できるように) ※受験対策として、「総復習問題集」をやる、そして重要なのは上記③④を常に心がけること。</p>